

# 広報

# どうし

## 道志村民憲章

私たちの七里は、緑と清流と歴史の郷です。この地に生きること誇りをもち、平和な村を築くため、ここに憲章を定めます。

私たちは

- 一、自然を愛し平和な村をつくれます。
- 一、生産に励み豊かな村をつくれます。
- 一、伝統を重んじ、教養を高め、文化の村をつくれます。
- 一、人情といたわりの心を養い、福祉の村をつくれます。
- 一、明るく健康で、活力ある村をつくれます。

2005 July 7月号



道志小学校 1年生

休み時間、雨の為外で遊ぶ事が出来ず図書室で本を読んでました。

# 道志村行政改革推進に関する

## “中間答申”

平成十七年六月六日、道志村行政改革推進委員会の出羽会長及び大田会長代理が役場村長室を訪れ佐藤村長に道志村行政改革推進に関する「中間答申」を提出しました。

同委員会は、平成十七年一月からこれまで五回の委員会を開催し、今

回中間的にまとめた喫緊の重要事項について次の答申を行いました。

村では、この中間答申を受け、行政改革へ向けた取組を六月議会に諮る予定をしています。

尚、同委員会は、引き続き最終答申に向け審議を行ってまいります。

### 道志村の行政改革の推進に関する重要事項について (中間答申)(抜粋)

貴職から平成十七年五月十八日付で諮問のあった、道志村の行政改革の推進に関する重要事項について、鋭意検討した結果、人件費等の削減は喫緊の課題である事を踏まえ、次のとおり中間答申を行います。本答申につきましては、議会と協議の上、すみやかな実施を期待します。

#### 1 基本的な考え方

本村の置かれている環境を鑑みる  
とき、地域の規模に即して簡素で効  
率的な行政システムを構築していく

ための方途を明らかにしていかねばなりません。

#### 2 改革の具体的な方策

##### (1) 給与の適正化

本村の直面する厳しい財政状況を踏まえ、人員の削減と並行して地域の実情等を勘案した人件費総額の削減が必要と考えます。

このような観点にたつて、次の制度の見直しについて取組みを求めます。

尚、今回の答申以外の事項についても継続審議します。

##### ① 特別職の職員給与について

- ・ 村長の給料月額を十万円引き下げる
- ・ 収入役の給料月額を七万円引き下げる
- ・ 教育長の給料月額を六万六千円引き下げる

##### ② 一般職の職員給与について

- ・ 管理職手当支給割合を37・5%から50%引き下げる
- ・ 税務手当を廃止する
- ・ 退職時の特別昇級を廃止する
- ・ 時間外勤務手当費を抑制する
- ・ 寒冷地手当を廃止する
- ・ 昇給停止年齢を五十五歳とする

##### (2) 事務・事業の見直し

限られた予算でいかにして質・量の変化する行政需要に対処していくか、そのための最適な予算配分が求められるところです。

このためには、全ての事務・事業について、洗い出しをし、行政の使命を念頭において総点検を実施し、簡素で効率的な行政の実現を図るため、徹底した事務経費削減の取組みを進めるとともに、行政需要、政策目標に向けた真に必要な事業を重点的、効率的に行う見直しが必要と考えます。このような観点にたつて、次の事務・事業について見直しの取組を求めます。

尚、当該見直し以外の事項についても引き続き検討します。

##### ① 事務の見直し

- ・ 旅費の内、日を廃止する
- ・ 時間外勤務の適切な管理を徹底する

##### ② 事業の見直し

- ・ 農業委員会の選任委員の内、議会推薦委員を二名減員する



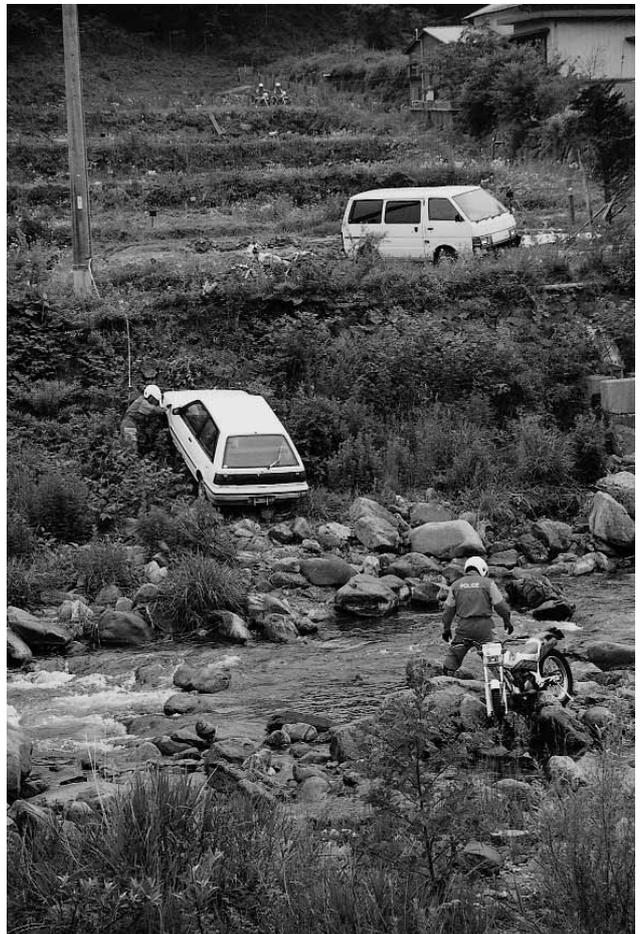
# 孤立対策警備訓練



6月9日道の駅どうしにおいて、山梨県警と都留署による孤立対策警備訓練が行われました。

東海地震の発生の切迫性が指摘され、同地震発生時には、県下ほぼ全域が震度6弱と想定し、孤立化する地域が多数予想されることから、道志村において、被災者の救護及び、通信手段の確保など実践的な地震対策警備訓練が行われました。

当日は、あいにくの小雨の中で実施されましたが、訓練は、国道413号の全線が不通、都留道志線の一部が落石し、車両通行が困難となり孤立化した中で被災者が救助を求めると共に、川に車両が転落し車内で数名が閉じこめられている想定の中で、被災者の救助活動を県警のヘリ「はやて」で救出する訓練の内容でした。道志村においても、新潟中越地震を教訓に防災対策について、災害用食糧、無停電装置、衛生電話等整備し、計画として備蓄倉庫、緊急ヘリポート等の充実を図り、さらには、防災マップも再検討をするためこれから関係機関と協議していきます。



# 横浜開港記念バザーに道志村が出店



特産品を販売しています

横浜開港150年事業と日韓友情年2005記念事業として、5月27日から6月2日まで、横浜市の横浜開港記念バザーが横浜公園で開催されました。このバザーは、大正9年から始まり、今年74回、みなと祭りの一環として行われ横浜の初夏の風物詩ということです。

バザーの会場は、横浜スタジアムを囲みながら、植木市コーナーから衣料品、雑貨等、269店が出店し、その中に道志村も出店させていただきました。

村の特産品のクレソンや、酒まんじゅう、木工製品などを、観光協会、村議会議員、村職員が、各種パ



観光協会のみなさんがPRを行っています

ンフレットを持参して「横浜市民ふるさと村」「水源の里」道志村をPRしてきました。

この一週間で、65万8千人の人出があり、暑さの中、道志村の清流で作った「はまっこどうし」のペットボトルの売れ行きも良く好評でした。又、水道週間が6月1日から7日までおこなわれる中、バザー会場水の広場ステージにおいて、道志村の東富士七里太鼓が勇壮にうち鳴らして訪れた人達からたくさんの拍手を頂きました。

## 議 会 構 成

平成17年6月20日

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
議 長	湯 川 六 昭	監 査 委 員	佐 藤 春 光
副 議 長	水 越 昌 義	国民健康保険運営協議会委員	山 口 達 夫
総務常任委員長	杉 本 正 人	”	佐 藤 一 仁
” 副委員長	佐 藤 春 光	”	佐 藤 最 上
” 委 員	佐 藤 一 仁	消 防 委 員	杉 本 正 人
” 委 員	渡 辺 胆 男	”	山 口 義 次
経済建設常任委員長	出 羽 茂 雄	”	渡 辺 胆 男
” 副委員長	山 口 義 次	東 部 広 域 連 合 議 員	長 田 公 明
” 委 員	山 口 達 夫	上 下 水 道 委 員	
” 委 員	長 田 公 明	” (長又・白井平)	水 越 昌 義
文教厚生常任委員長	佐 藤 光 男	” (板橋・善之木)	長 田 公 明
” 副委員長	水 越 昌 義	” (神地・川原畑)	佐 藤 春 光
” 委 員	湯 川 六 昭	” (和出村)	山 口 義 次
” 委 員	佐 藤 最 上	” (長幡東)	佐 藤 一 仁
議会運営委員長	長 田 公 明	” (大室指・月夜野)	出 羽 茂 雄
” 副委員長	出 羽 茂 雄	観 光 施 設 等 運 営 委 員	山 口 達 夫
” 委 員	佐 藤 光 男	”	杉 本 正 人
” 委 員	杉 本 正 人	”	佐 藤 光 男

## 議 会 だ よ り

平成十七年六月二十日の定例議会において、議会内容が次号に記載いたします。

議会構成が変わりました。

平成十七年六月五日(日)敷島総合文化会館・大ホールにおいて開催されました「環境フ

オーラムinやまなし」大会の中で、道志村商工会女性部(部長・山口かおる)が山梨県知事より『山梨県環境保全功績者表彰』を受賞しました。

この賞は、環境美化活動・リサイクル活動・環境保護・マイバッグ運動等環境保全に積極的に取り組んでいる、県内の個人・団体に贈られる名誉あるものです。

道志村商工会女性部では、「おもてなしの心」をコンセプトに、村の玄関口である国道沿いの花畑に、季節ごとに花を植え、県内外より訪れる人々をもてなすとともに、長年にわたり環境美化活動に積極的に取り組んでいることが高く評価されたものです。

## 道志村商工会女性部 山梨県環境保全功績者表彰を受ける



今回の表彰は、今年二月に田富町で開催された、山梨県商工会連合会・女性部交流研修会の中で郡内ブロック代表として、山口かおる部長が「女性部活動と地域振興・まちづくり」と題し主張発表し、みごと優秀賞に輝いたことがきっかけとなり、推薦を受けたものです。部員一同大変喜んでおり、今後の環境美化活動や環境保全等に、今まで以上に力を入れて頑張りたいと意気込んでいました。

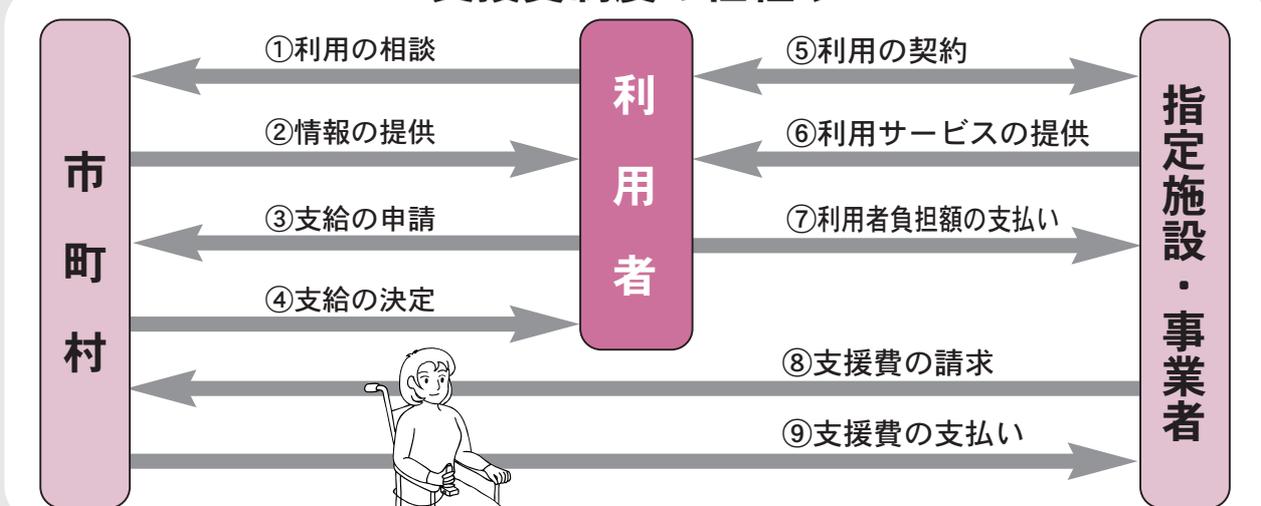
## 支援費制度について

障害をもっている方が利用出来ます



## 支援費制度

### 支援費制度の仕組み



#### サービスの種類

- 1 施設サービス⇒施設入所
- 2 居宅サービス⇒ホームヘルプサービス等

問い合わせは 道志村役場  
住民健康課 健康福祉係  
TEL 52-2113